



猫用 減量サポートは、減量を必要とする猫に給与することを目的として、特別に調製された食事療法食です。この食事は、摂取カロリーを制限した場合でも、必要なタンパク質やビタミン・ミネラルなどが十分に摂取できるように調整されています。

この食事療法食の対象



● 肥満時の減量

通常与えている食事の量を減らす方法による減量では、タンパク質やビタミン・ミネラルなどの栄養素が不足する恐れがあります。本製品は摂取カロリーを制限*^①した場合でも必要な栄養素が必要量摂取できるように調整されています。



● 減量によって改善が期待される各種疾患 (心疾患、関節疾患、皮膚疾患、糖尿病など)

心疾患、関節疾患、皮膚疾患、糖尿病などは、肥満によって悪化するリスクが高くなる報告があります。

*継続して使用する場合も定期的な診察を奨励しています。



使用が推奨されない病態等

● 妊娠/授乳期、成長期

この時期の減量は推奨されません。

● エネルギー増強を必要とする場合

原材料

家禽*^①肉、小麦、超高消化性小麦タンパク(消化率99%)、セルロース、コーングルテン、加水分解動物性タンパク、動物性油脂、ビートパルプ、魚油、サイリウム、グルコサミン、マリーゴールドエキス(ルテイン源)、コンドロイチン硫酸、アミノ酸類(タウリン、L-カルニチン)、ミネラル類(K、Cl、P、Ca、Zn、Mn、Fe、Cu、I、Se)、ビタミン類(コリン、E、C、ナイアシン、パントテン酸カルシウム、B₂、B₆、B₁、葉酸、A、ビオチン、B₁₂、D₃)、酸化防止剤(BHA、没食子酸プロピル) *3 鶏・七面鳥

*調達の都合により、原材料を変更する場合がございます。

成分	単位/400kcal
タンパク質* ^①	47.5g ↑
脂肪	11.3g ↓
食物繊維	16.6g ↑
灰分	9.0g
水分	6.2g
炭水化物	31.5g
カルシウム	1.4g
カリウム	1.13g
リン	1.37g
マグネシウム	0.09g ↓
鉄	23.73mg
	銅 1.69mg
	亜鉛 22.15mg
	ナトリウム 0.56g
	EPA+DHA 181mg ↑
	L-カルニチン 23.7mg ↑
	タウリン 0.35g
	アルギニン 2.58g
	ビタミンE 79.1mg
	ビタミンC 33.90mg
	ビタミンB群 45.29mg

↓やや制限 ↓↓制限 ↑やや強化 ↑↑強化



規格：500g・2kg・4kg

代謝エネルギー ... 354kcal/100g ↓*^②

1日の給与量の目安

1カップ=200cc

成猫の目標体重 (kg)	3	3.5	4	4.5	5	5.5	6	6.5	7	7.5	8
重度の体重過多 (30%以上 ^③)	30g 0.4カップ	35g 0.5カップ	40g 0.6カップ	45g 0.6カップ	50g 0.7カップ	55g 0.8カップ	60g 0.8カップ	65g 0.9カップ	70g 1.0カップ	75g 1.1カップ	80g 1.1カップ
軽度の体重過多 (15%以上 30%未満)	25g 0.4カップ	30g 0.4カップ	35g 0.5カップ	40g 0.6カップ	40g 0.6カップ	45g 0.6カップ	50g 0.7カップ	55g 0.8カップ	60g 0.9カップ	65g 0.9カップ	70g 1.0カップ

(※) 体重減少が認められない場合はプログラム1からプログラム2へ移行してください。

ここに表示されている給与量はあくまでも目安です。個体差や活動量に応じて調整を行ってください。



原寸大

追加情報

- 本パラエティーにはウェットタイプ(パウチ)もあります。
- 減量を目的とした食事療法食には、「猫用 満腹感サポート(ドライタイプ)」もあります。
- 目標体重を設定し、体重過多の程度に応じて給与量を設定します。
- 理想的な減量スピードは、1週間に1~2%です。
- 肥満の猫では、急激な体重減少は肝リピドーシスのリスクをあげてしまいます。そのリスクを回避するために、猫が規定量の食事を食べたことを確認することが重要です。

- 減量成功後は、「猫用 ベツプラン メールケア、フィーメールケア(ドライタイプ)」などの、肥満を考慮した食事で体重を管理することを推奨します。
- 肥満傾向で下部尿路疾患の猫には、「猫用 pHコントロール ライト(ドライタイプ)」もあります。
- 本製品の各適応に対して選択いただける他のパラエティーについては、「疾病からみる適応表(P.7、P.8)」をご覧ください。
- 愛犬・愛猫の減量支援サイト「SlimFit (スリムフィット)」<http://slimfit.jp>もご利用ください。